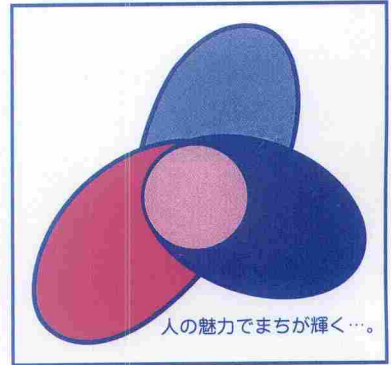


ダイジェスト版



千歳市生涯学習まちづくり推進計画

ひと・まち

魅 カ

プ ラ ン

人の魅力でまちが輝く 生涯学習都市

千歳市

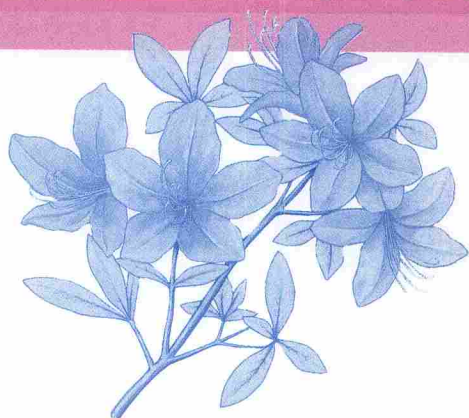
私たちは、日常生活のなかで、
多くの人と出会い、ふれあい、語り合っています。
このような「学び」と「交流」を
実践しながら、人とのかかわりのなかで生活しています。

そのかかわりは、文化・スポーツであったり、
趣味や講演会、ボランティアなどであったり、
時には、地域やまちづくりの場面となります。

今、21世紀を迎え、
私たちを取り巻く社会では、
さまざまな問題や事件が起きています。

この『ひと・まち魅力プラン』では、
人が人に対する思いやりや暖かさを持ち、
尊敬し合う人間関係と
元気な地域をつくりたいと考えています。

千歳で共に生きる喜びや幸せを、
交わすあいさつで感じ合いながら、
「千歳に住んで本当に良かった！」と実感し、
それを人に伝え、心のよりどころにするため、
楽しく、安全で、安心して暮らせる
『人の魅力でまちが輝く生涯学習都市』を
市民と行政が共に目指します。



生涯学習とは?

生涯学習とは、豊かで充実した人生や生活を送るために、それぞれの分野において自発的な意思で行う学習や活動です。

それは、学校での学習をはじめ、文化、スポーツ、趣味、健康、ボランティア、コミュニティ、専門的技術・知識、資格取得などといったあらゆる領域で実践されている活動のことです。

私たち一人ひとりが、生涯学習を通じ自己を高め、千歳に誇りと愛着を持ち、生きがいのある暮らしを行うために、生涯学習によるまちづくりや人づくりが必要です。

計画の趣旨

この推進計画は、市民と行政が協働で生涯学習のまちづくりを進めるための共通目標や方針を示したものであり、現在実施している生涯学習関連事業や今後取り組むべき事業を体系化し、この推進を目的として策定したものです。計画の期間は平成13年度から平成22年度までの10年間です。

計画の位置付け

この推進計画は、千歳市新長期総合計画の将来都市像である「ひと・まち☆きらり 地球の笑顔が見えるまち 千歳」の実現を目指した『人づくり』のための個別計画として位置づけます。

また、生涯学習社会の土壌となる学校教育・社会教育の充実を前提として、さまざまな分野の市民活力による生涯学習のまちづくりを推進する視点から策定しています。

3つの性格

この「ひと・まち魅力プラン」には、3つの性格があります。

千歳市民の魅力を育てます。 ～自主自立の人づくり計画

まちを高める市民活動を支援します。 ～市民活動の支援計画

市民と行政が共にまちづくりを進めます。 ～市民と行政の協働計画

ひと・まち魅力プラン 基本方針

生涯学習は、私たちが日常生活のなかで実践しているさまざまな「住みよい暮らしをつくる活動」そのものです。

学習活動を通じて、人と出会い、語りあう学びと交流により人や家庭、地域が高まり、住みよい暮らしをつくる地域コミュニティの充実を基本とした

『人の魅力でまちが輝く生涯学習都市』

を目指します。

市民の役割

生涯にわたってさまざまな活動を実践し、一人ひとりが相互に連携・協調する力を持ち、自らが主役となったまちづくり活動を進めます。

行政の役割

生涯学習を人づくりや地域づくりとしてとらえ、市民主体の活動を積極的に支援するとともに、この活力を生かした市民と協働によるまちづくりを進めます。

5つの方策

市民の活力を生み出す

人はまちの財産です。

市民の自主的な学習活動により自己が高まり、市民の活力が生み出されてきます。

市民の活力を育み高めるため、

- 広報・啓発活動の充実
- 開かれた学校づくりや利用者の立場に立った施設の整備・運営など学校・社会教育の充実
- 少子高齢化や国際化など市民生活の多様化に対応した学習機会の充実などの方策を進めます。

市民の多様な活動を高める

市民活動を支援します。

千歳市には、多くの団体・サークルがあり、市民活動がとても活発です。

活動の幅を広げ高めるため、

- 市民主役の活動の支援
- 環境活動や芸術文化活動、健康づくり活動やボランティア・NPO活動など、多様な市民活動の充実
- 各種市民活動の条件整備や支援体制の整備などの方策を進めます。

自立と連帯感のある人をつくる

自主性と自立・連帯を大切にします。

生涯学習は、自己決定で行われるものであり、同時に自己責任と自己負担が必要です。

自主・自立の人づくりのため、

- 積極的にまちづくりに参画する人材の育成
- 地域リーダーの育成
- 学びあい、教えあう人材の活用などの方策を進めます。

地域コミュニティに生かす

人のネットワークづくりを重視します。

自発的な学びによる学習交流を地域コミュニティに生かすことが必要です。

学びによる交流を地域づくりに生かすため、

- 市民活動の交流連携事業の実施
- 学習交流による地域づくり
- 全市民生涯活躍のシステムづくり
- 生涯学習機能のネットワークづくりなどの方策を進めます。

協働による推進体制を整える

生涯学習のまちづくりを総合的に推進します。

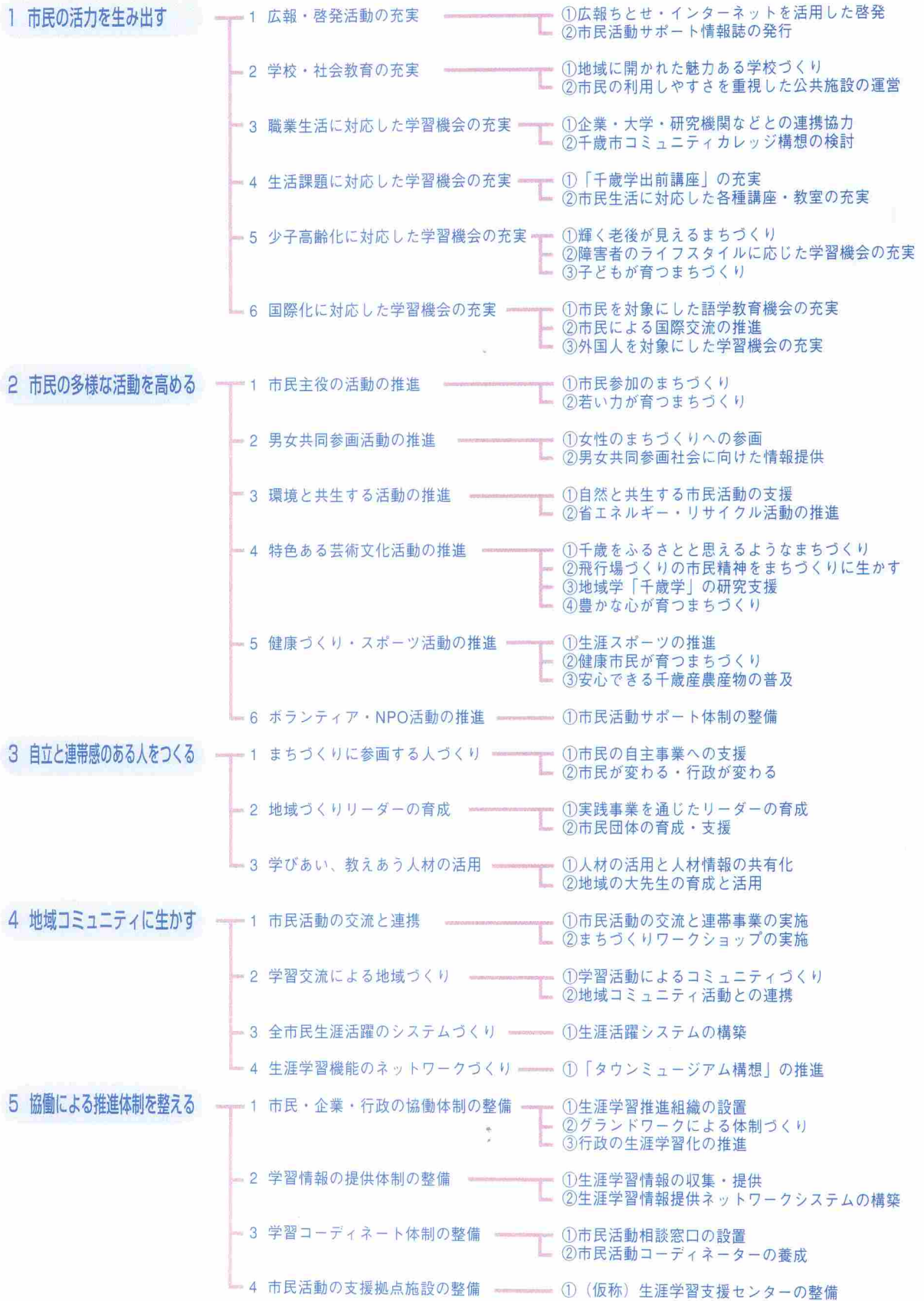
千歳で暮らす幸せを感じ、さまざまな分野で、いつでも・どこでも・だれもが学び、交流することができるため、市民も行政も協働して知恵を出し合うことが必要です。

市民と行政がパートナーシップを形成し、協働できる体制をつくるため、

- 市民・企業・行政の協働体制や生涯学習情報の提供体制の整備
- 学習コーディネート体制の整備
- 市民活動の支援拠点となるセンター施設の整備などの方策を進めます。

計画の施策の体系

人の魅力でまちが輝く
生涯学習都市ちとせ



生涯学習のまち重点プロジェクト

この10項目のプロジェクトは、「人の魅力でまちが輝く生涯学習都市」の実現に向けて、計画期間中、重点的に取り組む事業です。

市民活動の支援拠点

各種ボランティア・NPO活動などのさまざまな市民活動を支援するため、情報・相談・交流・作業などの場として(仮称)生涯学習支援センターを設置します。

市民活動のサポート体制

各種市民団体などのボランティア活動やNPO活動をサポートするため、コーディネータを養成します。団体間の連携やNPO法人化への相談など支援体制をつくります。

情報提供システム

自主的な学習活動を支援するため施設や事業、人材、市民団体などの生涯学習情報をインターネットで自由に提供できるようデータベースを構築します。

地域の大先生

市民同士が学びあい・教えあう人のネットワークづくりのため、特技や経験、知識、技術を持った市民を養成・活用し、千歳学出前講座などで地域の大先生をつくります。

市民と行政の協働体制

市民と行政がお互いに知恵を出し学びながら、協働でまちづくりを進めるため、生涯学習推進本部や生涯学習まちづくり市民会議など、推進体制を整えます。

市民の自立と連帯意識

市民が自主的・自発的にまちづくりに参加し、市民活動のネットワークづくりや各団体の活動紹介・実践活動の場として、各種交流・連携事業を市民実行委員会などで開催します。

地域学研究組織

千歳を理解するため、地域の特性や歴史、地理、文化などを体系的に学ぶ機会として、地域学「千歳学」の研究グループを市民・企業・教育機関などと連携してつくります。

生涯活躍のシステム

市民一人ひとりが自分に合ったテーマで学習活動を実践し、創造の喜び・役立つ喜び・感動の喜びを共感し合い、人の活力を家庭や地域、まちづくりにつなげる市民参加システムをつくります。

地域の学習センター

地域に開かれた魅力ある学校づくりのため、市内小中学校の施設開放を検討し、各学校で特色ある開放講座などを実施することで、学校を地域の学習センターとします。

学習資源のネットワーク

千歳のまちの機能(自然、文化、産業、施設、風景、人など)を生涯学習の資源と考え、まち全体をキャンパスとして捉えた「タウンミュージアム構想」を進めます。